

感性ロボティクス部会 研究会のご案内

「感性ロボティクスの課題」

日本感性工学会、感性ロボティクス部会の研究会を、2007年4月27日(金)に、千葉工業大学津田沼キャンパスにて開催致します。この研究会の目的は、ますます重要になってくる感性工学とロボティクスの融合に関する技術をこれからどう育てていけばよいのか、について総合的に議論する場を提供することです。そのため、今回は感性ロボティクス分野で活躍中の研究者の方の講演とそれに続くパネルディスカッションを計画しております。なお、パネルディスカッションでは語りきれなかった話題については懇親会で大いに話し合っていたいただきたいと思います。皆様奮ってご参加下さい。

開催日: 2007年4月27日(金)

会場: 千葉工業大学 津田沼キャンパス **7号館4F、7410室(変更になっています)**

(<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access>)

(<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma.html>)

懇親会場: **教職員食堂** (18:15-20:30)

プログラム: 15:00 - 15:05 開会の挨拶

15:05 - 15:45 Invited Talk 1: 加藤昇平 (名古屋工業大学)

講演題目:感性ロボットの感情制御をめざして

概要:近年、ペットロボットや会話ロボットなど多くのエンタテインメントロボットが開発されており、感性を考慮したロボットの研究が盛んになってきている。感性ロボティクスの課題として、ロボットに人間との感性豊かなコミュニケーションの機能や能力を実現することが重要である。我々は、産学共同プロジェクトにより開発された音声会話と感情表出の基本機能を備えた感性会話ロボットifbotを用いて感情制御に関する研究を行っている。講演では、ifbotを用いた感情認識と感情生成に関する取り組みを紹介する。

15:45 - 16:25 Invited Talk 2: 森 善一 (茨城大学)

講演題目:ロボティック ひーりんぐ スペース

概要:本講演では、病床の人にあたえる自然の感覚や、現代病に対応する五感を刺激する仕組み作りをめざし、ロボット技術を応用した"癒し空間"の実現についての構想を示し、その可能性と効果について議論する。

16:25 - 17:05 Invited Talk 3: 河村 隆 (信州大学)

講演題目:ヒト用搾乳ロボットの開発と搾乳機使用時の母体の生理反応

概要:乳児の哺乳行動を観察して、その動作を模倣した搾乳機を開発した。市販の搾乳機と開発した搾乳機を用いて搾乳時の母体の生理反応計測をおこない、比較して、開発した搾乳機の優位を確認した。

17:15 - 17:55 Panel Discussion 加藤昇平, 森義一, 河村隆, 富山健, 橋本稔

「感性ロボティクスの課題」

17:55 - 18:00 閉会挨拶

18:15 - 懇親会

参加費: 無料

懇親会費: ¥3,000

問い合わせ先: 〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部感性工学科
橋本 稔 Phone: 0268-21-5524 Mail: hashi@shinshu-u.ac.jp